

PAXシステム用アルミホイール

Aluminum Wheel for PAX System

タイヤがパンクしても一定距離走行可能なランフラットタイヤが開発され、高い安全性と、スペアタイヤ不要等の理由により注目されている。ミシュラン社殿開発のPAXシステム(図1)は、パンク状態での走行に必要な機能をサポートリングに集中させるため、通常のドライブにおける走行性能を犠

牲にすることのない画期的なランフラットシステムである。当社は本PAXシステム用のアルミホイールを開発して、量産を開始した。

ホイールのリム部はサポートリング装着を考慮した特殊形状であり、パンク状態では、ホイールリム中間部への走行入力に耐える必要がある。そのため従来にないリ

ム設計技術、製造技術が必要であった。当社は本品を製造するために、強度解析技術、製造技術を新規に構築した。図2にアルミホイールの開発フロー、図3、4にホイールの強度解析事例を示す。

(自動車機器カンパニー)



図1 PAXシステム

(写真御提供 日本ミシュランタイヤ(株)殿)

Fig. 1 PAX system.

(courtesy of NIHON MICHELIN TIRE CO.,LTD.)

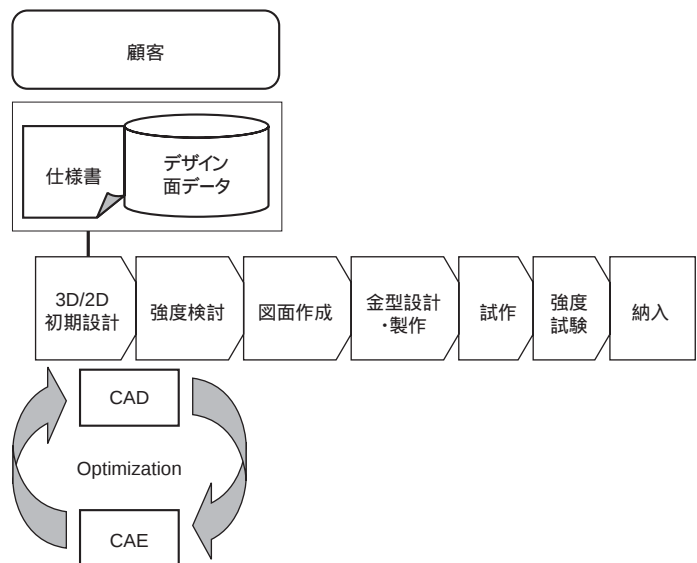


図2 アルミホイールの開発フロー

Fig. 2 Development flow of Aluminum wheel.



図3 ポットホール解析結果

Fig. 3 FEA (finite element analysis) result of pothole impact test.



図4 回転曲げ解析結果

Fig. 4 FEA result of rotary fatigue test.